

第2回 気賀小学校運営協議会 次第

令和5年6月15日(木)

13:00~15:00

気賀小学校第1会議室

- 1 開会のことば <司会：教頭>
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 授業参観 (13:15~14:00)
- 5 前回会議録確認 (14:00~14:05) … 別紙資料①
- 6 報告 (14:05~14:20) <進行：議長>
 - ・学校支援コーディネーター活動経過報告 … 別紙資料②③
- 7 熟議 (14:20~14:55)
 - ・学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）について … 別紙資料④
 - ・ビジョンを実現するための支援策の具体について
 - ・自己評価表の評価項目について … 別紙資料⑤
- 8 その他 (14:55~15:00)
 - ・次回議長の確認

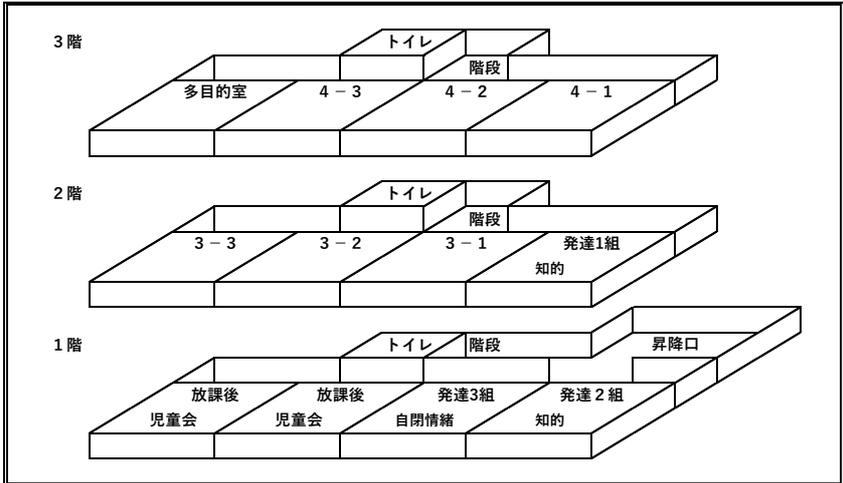
 - ・第3回気賀小学校運営協議会
 - 【日時】 令和5年10月26日(木) 13:00~
 - 【場所】 南校舎1階 第1会議室
- 9 閉会のことば

参加者名簿

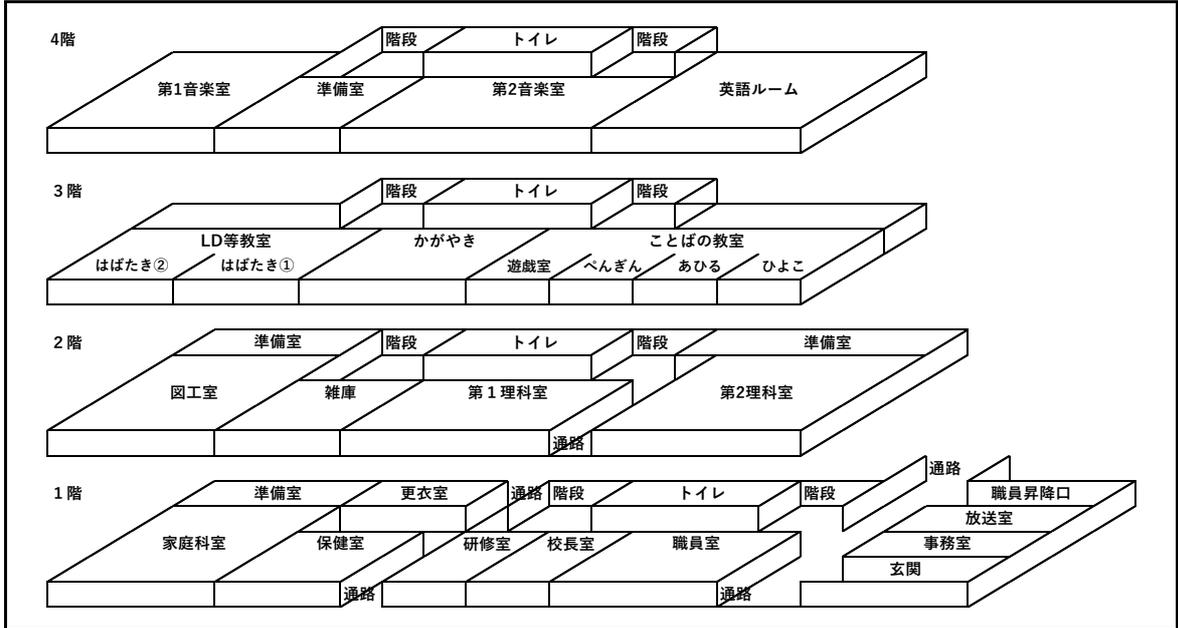
1	会 長	宮崎 順孝
2	副会長	田力 祐二
3		石川 隆久
4		長谷川 真奈美
5		山田 真代子
6		石田 潤司
7		伊勢 聖
8	学校支援 コーディネーター	木俣 契一
9	学校支援 コーディネーター	小田木 真砂子
10	学校支援 コーディネーター	藤田 嘉代
11	市教委 総務課	清水 悠
12	校長	齊藤 昌長
13	教頭	内山 忠久
14	CS担当	朝比奈 愛子
15	CS ディレクター	内山 尚子

R5年度 教室配置

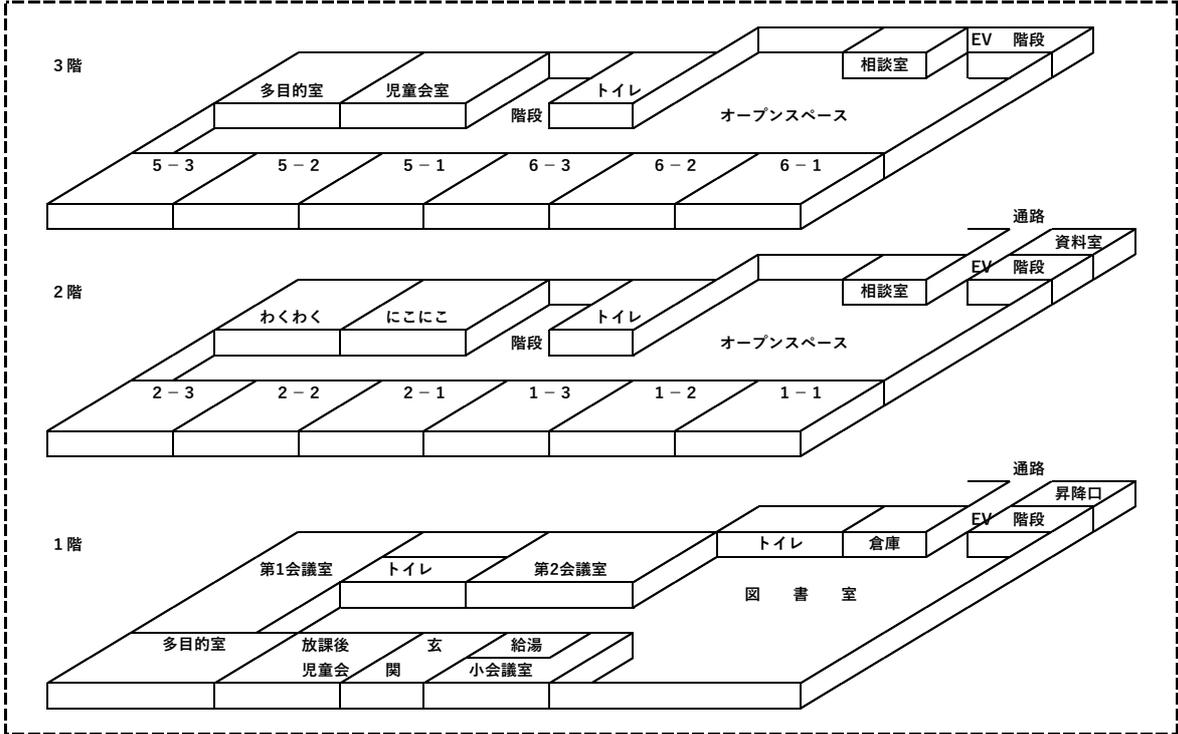
北校舎



中校舎



南校舎



令和5年度 第1回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月17日（月） 午後1時12分から午後2時30分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、木俣契一、伊勢聖、小田木真砂子、藤田嘉代、
- 4 欠席委員 石田潤司
- 5 学 校 齊藤昌長（校長）、内山忠久（教頭）、古橋孝文（主幹）、朝比奈愛子（CS担当職員）、内山尚子（CSディレクター）
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）

8 会長の選出及び副会長の指名

司会の内山教頭から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員から宮崎委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後会長に選任された宮崎委員から、田力委員を副会長に指名する旨の報告があった。

9 議長の選出

司会の内山教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 気賀小学校運営基本方針について
- (2) いじめ防止等の基本方針の説明
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 気賀小学校運営基本方針について

議長の指示により、齊藤校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 昨年からスタートした新しい気賀小ロードマップの4つのステージについて、新委員の方々にも御理解いただきたい。（宮崎委員）
- ・ 昨年、三学期制から成績だけ前期・後期の二期制にした。まだ慣れていないところはあるが、徐々に慣れていくのではと思う。また、5本柱を3つにまとめ直しながら進めていき、キャリア教育と生きる力を育てるところを結び付けていきたいと思っている。（齊藤校長）
- ・ コロナ禍前の行事を完全ではなくても気賀っらしさを失わないように実施してほしい。（石川委員）
- ・ 来月の運動会を午前中開催にして、できることを今まで通り実施していく予定。子供の思いもできるだけ汲みながら、時間の問題を交えながら考えていきたい。（齊藤校長）

- ・ 昨年の学習発表会を1年から6年まで全学年見たが、学年ごとの成長がはっきり見てとれて感動した。特に6年生のプレゼンがすばらしく、良い取り組みだと思った。
(小田木委員)
- ・ 子供たちの提案で地域が活性化され、お祭り等もより良いものにしていけないかと思う。(木俣委員)
- ・ 地域とのつながりがより強くなれば、いじめ問題もなくなるのでは。(石川委員)
- ・ 総合的な学習の時間の中で、子供たちに提案を投げ掛けていってもよいのでは。子供たちの発想が大人たちに刺激を与えるかもしれない。(齊藤校長)
- ・ ロードマップで短期目標から長期目標へ向かっていくというところが分かりやすく、取り組みやすいと思う。校長先生から子供たちへポイントとなる言葉の投げ掛けがとても良いと思う。また、CSに教員がもっと積極的に関わってけると良いと思う。小学生の情報モラルの指導はどのようにされているのか。(山田委員)
- ・ 高学年を中心に学校でも指導はしているが、家庭での話し合いも必要。今後、より良くしていけるように考えていきたい。(齊藤校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等の基本方針の説明

議長の指示により、齊藤校長から、別紙資料に基づきいじめ防止等の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 携帯(LINE)でのいじめに関しては、親の認識がそのまま子供の甘い認識につながっていると思う。学校の指導だけではなく親の責任も大きいと思うので、どのように呼び掛けていったらよいか難しいが、いろいろ試していくしかないのでは。(小田木委員)
- ・ 禁止するだけではなく、きちんと判断できる力をつけることが大切。(山田委員)
- ・ 低学年でも相応の指導が必要だと思う。集団の中でルールを守ることの大切さを教えていきたい。(齊藤校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、内山教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他連絡事項等

- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和5年6月15日(木)午後1時00分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。(授業参観含む。)

学校支援コーディネーター活動報告

令和5年6月15日

1、主な活動

- 家庭科、生活、社会について授業補助のボランティアを募り、支援をお願いした。
- はままつ人づくりネットワークより講師の依頼、実施。
- クラブ活動の補助、講師の依頼。
- 学校支援コーディネーター研修会への参加（zoom 視聴）
- 「気賀っ子応援団」（CS だより）の作成。

2、活動報告

○4月

- 先生方との顔合わせ、今年度方針打合せ

○5月～6月

- 5、6年生：調理実習、裁縫実習

○5月

- あさがおの種まき
- クラブ活動

○6月

- 3年生：公共施設見学
- 2年生：まちたんけん
- 読み聞かせボランティア「朝じゅげむ」「昼じゅげむ」「サンタの部屋」
- 学校支援コーディネーター研修会への参加（zoom 視聴）

3、その他

◎今後の支援募集、実施予定

- 2年生：神話の読み聞かせ
- 3、4年生：体育「ボール投げ」
- 3年生：商工会議所および細江町商店街見学、歴史探検、農業見学
- 発達：SDGsについて 聖隷事業団・浜松磐田信用金庫による講座
環境に“E”お買い物

気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第9号 令和5年6月



新しい時代のコミュニティ・スクールへ

校長 齊藤昌長

本年度、気賀小学校のコミュニティ・スクール（CS）は4年目を迎えます。学校運営協議会委員も新しくなりました。学校便りでもお知らせしましたが、150周年実行委員会の実行委員も兼務していますので、半数以上の方々に留任していただきました。よろしくお願いいたします。

宮崎 順孝 石川 隆久 長谷川 真奈美 ○田力 祐二 ○山田 真代子 木俣 契一
石田 潤司 ○伊勢 聖 小田木 真砂子 藤田 嘉代（敬称略 ○新しい委員）

最近、対話AI「ChatGPT」や「画像生成AI」の進化が話題になっています。その影響はインターネットの発明よりも社会に与える影響が大きいと言われ、予想を上回るスピードで生活の中に入り込んでいます。子供たちが大人になるまでに生活や仕事にAIは不可欠なものになるでしょう。SF映画で描かれているAIと人が共存する社会が現実になり、文書を作る、文や絵をかく、会話する…等は、AIに取って代わられるかもしれません。



こうした社会を生き抜くために必要なものは何でしょうか？学校では、ここ数年でタブレットPCが授業の中に入り、かなりのスピードでデジタル化が進んできています。子供たちはプレゼンテーションを作って発表する、対話ソフトを使って意見交換をする等の機会が増え、デジタルコミュニケーションのスキルが向上しています。

しかし、これからは、「ひとものこと」とかかわる「リアルな体験」の重要性が増してくると思います。直接見る・触れる、異年齢の人と話すといった五感を使った直接体験は、人でなければできません。学校行事や校外学習、縦割り班活動等の協働的な学習活動は、こうした直接体験の幅を広げるものです。こうしたリアルな体験があるからこそ「人間らしさ」が育つのではないのでしょうか。

CSの仕組みを使うことで、子供たちの安全を確保しながら、様々な人々とのかかわりの中で直接体験の質が向上していきます。これは子供たちに限ったことではなく、私たち大人にとっても「リアルな体験」は必要です。子供たちと一緒に活動して、私たちも成長してみませんか？

この3年間で気賀小学校のCSは定着しつつあり、年々「気賀っ子応援団」に参加してくださる方が増えています。「アフター・コロナ」のCSの在り方を模索しながら、活動の質を高め、持続可能なものにしていきたいと思っています。150周年の今年、新しい気賀小学校をつくるために力を貸していただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



（この文章は、「Chat GPT」で作成したものではありません…）

今年度もボランティアの方々の御協力をいただき、CSの活動が始まりました。

1年生 あさがおの種まき



クラブ活動



5年生 はじめてのソーイング



5年生 ゆでて食べよう



6年生 野菜炒め



気賀っ子応援団、募集中！！

気賀小では、引き続き、授業支援のボランティアをしていただける方を募集しています。校外学習の引率補助・家庭科（ミシン・裁縫・調理実習）補助、絵本の読み聞かせ、休校日の花の水やりなど、興味のある方は気賀小学校CS担当もしくは学校支援コーディネーターへ御連絡ください。

また、今年度からさくら連絡網により保護者へのボランティア募集の連絡も始めました。日頃のお子様の様子を見るチャンスです。保護者の方からおじいちゃんおばあちゃんや近所の方にも御案内いただいても大丈夫です。ぜひ御応募ください。

気賀小学校 電話：053-523-0158

2023 気賀小学校ロードマップ

☆3つの目指す子供像を実現するために、それぞれのステージで達成したい子供の姿を示しています。

ステージ 目指す子供像	スタート 4月・5月	チャレンジ 6月～9月	チェンジ 10月～12月	ステップアップ 1月～3月
学校行事 学年行事	・運動会	・宿泊体験活動 ・新体力テスト	・修学旅行 ・持久走記録会	・学習発表会
学び合う子 	○大きな声・はっきりした声で話せる子	○思考過程を話せる子	○思考過程を分かりやすく話せる子	○思いや考えを聴き、伝える子
たくましい子 	○話し合いの流れを知る。 ○みんなで仲良くする。 ○良好な人間関係づくりを通して運動や食の楽しさを知る。	○課題を見付けることができる。 ○みんなのよさを知る。 ○自分の体の現状を知り、課題に気付く。	○折り合いをつけて話をまとめることができる。 ○みんなとつながる。 ○自分が決めたためあてに向かって、最後までやり抜く。	○主体的に話し合いに参加することができる。 ○みんなに感謝を伝える。 ○日常的に運動したり、健康的な生活習慣を身に付けたりする。
思いやる子 	○関わり合いが大切なことに気付く。 ○気賀っ子パスポートがなぜ必要かを理解する。	○関わり合いを通して自分のよさに気付く。	○なりたい自分をイメージし、自分なりのためあてに向かって取り組む。	○成長を支えてくれた人達に感謝するとともに、次の学年への願いをもつ。

「スタート」ステージの活動の検証と「チャレンジ」ステージに向けて

気賀小学校では、1年間で4つのステージに分けてロードマップを作成しています。5月の末に「スタート」のステージの反省を行い、次の「チャレンジ」のステージの取組について話し合いました。

1 学び合う子「思いや考えを聴き、伝える子」

キャリアの視点 思いや考えを聴き、伝える授業（かかわる力）

スタート	<ul style="list-style-type: none"> ○大きな声・はっきりした声で話せる。 ・話し方、聴き方のオリエンテーションを行う。（授業イメージの共有） ・教師がよいモデルになる。 ・よい返事ができている子を称揚。 ・反応の仕方を示す。 ・「気賀小ベーシック授業」4/10～5/2
成果と課題	<p>○よい返事、はっきりした声で話せている子を称揚することで、よい姿のイメージを子供たちがもつことができ、意識する子が増えた。</p> <p>▲反応のバリエーションが少ない。（「いいです」「同じです」）→反応の言葉や態度を教える必要。</p> <p>▲はっきりした話し方や最後まで大きな声で話せない子がいる。→話し方・聞き方の目安になる掲示</p>
チャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ○思考過程を話せる。 ・ペア、グループでの対話活動を意図的に設定する。 ・思考過程を含め、考えを伝える。（3文程度） ・反応している子を称揚する。

2 たくましい子「いのちを大切に、自分で決めためあてに向かって生活する子」

キャリアの視点 問題解決活動の充実（のりこえる力）

スタート	<p>ア：エンカウンターなどを通して、新しく出会った子について知ろうとする。</p> <p>イ：創意工夫できる係活動、学級を運営する当番活動を決める。</p> <p>ウ：話し合いセットを活用して話し合いの流れを知り、様々な役割を経験する。</p> <p>エ：1年間の見通しをもち、めあてを立てる。</p>
成果と課題	<p>◎ア：エンカウンターを通して、友達と積極的に関わる姿が見られた。</p> <p>イ：自分たちで考えた係活動に取り組んでいる。</p> <p>△イ：係活動を忘れてしまう子が見られる。</p> <p>ウ：話し合いセットにとらわれることなく、発達段階に応じた話し合いを工夫していきたい。</p>
チャレンジ	<p>ア：かがやきカードを積極的に活用し、友達や縦割り班の仲間などと認め合う。</p> <p>イ：係活動の仲間と声を掛け合いながら、よりよい学級を目指す。</p> <p>ウ：学級の課題をつかみ、発達段階に応じた話し合いを行い、スムーズに合意形成を図る。</p> <p>エ：自己を振り返り、個に応じた目標をスモールステップを意識して、達成を目指す。</p>

キャリアの視点 健康的な生活の習慣化（つなげる力）

スタート	<p>ア:授業の流れや約束事を確認し、集団行動について指導して、安全で楽しい体育の授業をつくる。 運動会の練習を通して、学級学年のまとまりをつくる。</p> <p>イ:健康診断や生活リズムチェックから自分の体や生活習慣について知ることができるようにする。</p> <p>ウ:1年間の食や健康の見直しをもつことができるようにする。 給食のきまりを守って楽しい給食時間を過ごせるようにする。</p>
成果と課題	<p>◎ア:運動会を通して、しっかりとした集団行動が見られるようになった。</p> <p>イ:生活リズムチェックの保護者コメントから、健康に関する意識の高まりを感じる。</p> <p>ウ:昨年度と同じ時期と比べ残食が少なく、自分が食べられる量を把握している子が多くなった。</p> <p>△ア:いつでも安全に体育ができるようにする。</p> <p>イ:自分の生活習慣の課題を生かせるようにする。</p> <p>ウ:給食配ぜん中のマスクを忘れる子が多く見られる</p>
チャレンジ	<p>ア:主運動に関連した準備体操を通して、けがのない体育の授業を展開する。 :チャレンジカルテをもとに、個に応じた運動の目標をたてる。</p> <p>イ:自己の生活習慣を見直し、課題解決に取り組む。</p> <p>ウ:食に関する知識を深め、配膳の工夫をする。 :給食の便りを通して、配ぜん中のマスクについて周知する。</p>

3 思いやる子『ひと・もの・こと』とよりよく関わる子生徒指導部』

キャリアの視点 気賀っ子パスポートの習慣化（かかわる力）

スタート	<p>☆10の約束の必要性を願いと結び付けて理解する。</p> <p>・みんなが守る決まりやマナーを考え合う。 4月:明るく元気に笑顔であいさつしよう 5月:正しい姿勢でまじめに学習しよう</p> <p>・目標達成のために乗り越えなければならないことを確認する。 ※学級目標、個人目標</p> <p>・学級開き、参観会、家庭確認を通して、児童理解に努める。</p>
成果と課題	<p>○10の約束については、呼び掛けをしたり、手本となる行動をしたりする子が増えてきた。一方で頭では理解しているものの、意識が低い児童もおり個人差がある。学年集会などで呼び掛けていく必要がある。</p> <p>△朝の挨拶はしっかりできる児童が多いが、下校時の挨拶はこちらから声を掛けても返さないなど、学級全体での挨拶は良いが、個々の挨拶に課題がある児童もいる。</p> <p>○学年目標に向かって、学年で意識を高くもっている。</p>
チャレンジ	<p>☆友達とのよりよい関わりを通して、自分のよさに気付く。</p> <p>・自己の目と他者の目を通した真剣な自己の行動の振り返りをする。※かがやきカード 6月:右側を静かに通る廊下歩行をしよう 7、8月:時刻を守って、きびきび行動しよう。</p> <p>・人を大切にする、他者を尊重する意識をもつ。</p> <p>・こころのアンケートを活用しながら、児童の心の様子を把握する。</p>

キャリアの視点 温かく学び合う集団の形成（つなげる力）

スタート	<p>○ 学級開き ・道徳の時間のオリエンテーション実施 ・エンカウンターによる人間関係作り</p> <p>○ 基本的な授業展開の理解と実践 ・問題意識をもたせる導入の工夫 ・成長を認め励ます評価の工夫</p> <p>○ かがやきカードによる交流(クラスの友達へ)</p> <p>○ 一鉢栽培(サルビアの種まき)</p> <p>○ はままつマナーの効果的な活用</p>
成果と課題	<p>○道徳の授業で何を学ぶのかを児童に説明した。道徳の授業を楽しみにしている児童が多い。</p> <p>○児童が意見を言えるような授業展開を心掛けている。</p> <p>○友達の考えに反応できるようになってきた。</p>

	<p>△一鉢栽培に関しては、毎日水やりをする子とそうでない子の個人差が大きい。声掛けをしていく必要がある。</p> <p>△はままつマナーを活用できていないので、今後活用していきたい。</p>
チャレンジ	<p>○効果的な話し合いの工夫→主体的に考えることができるような発問の工夫 話し合いの形態の工夫(ペアトーク、グループトークなど)</p> <p>○一人一鉢栽培(サルビアの栽培)</p> <p>○かがやきカードによる交流(学級→学年の友達へ)</p> <p>○はままつマナーの効果的な活用 命の日の指導</p>

4 授業参観での子供たちの様子(熟議)



令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名（ ）

<本年度の目標>

- 学校運営協議会の取組について、家庭や地域へ情報を発信し、活動内容や実際の様子の周知を図る。
- 学校運営協議会と教職員との連携を高め、学校支援活動のさらなる充実を図る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

--

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

--

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

--

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

--

(様式2)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

※ 協議会で設定した取組目標を記載する。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に記載する。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

※ 参考資料【熟議チェックシート】等をもとに、振り返りを行う。

※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけでなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

※ 委員個人の意見だけでなく、協議会としての視点で記載する。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

※ どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

※ 委員個人の目標だけでなく、協議会全体としての目標を記載する。

コミュニティ・スクール 活動保険について

(令和5年度)

◎**傷害保険**…学校支援CD、学校支援ボランティア、放課後・土曜学習活動参加者（児童含む）
活動中に生じた事故により、死亡または負傷した場合に補償される保険です。
（熱中症、低体温症、脱水症、（放課後・土曜学習参加者のみ食中毒）を含む）
※自宅から活動場所（学校外も対象）までの往復に起きた事故を含みます。

◎**賠償責任保険**…学校支援CD、学校支援ボランティア、放課後・土曜学習ボランティア
活動中に生じた事故により、他人にけがを負わせてしまったり、物を壊してしまったりし、
損害賠償責任を負った場合に補償される保険です。
※自宅から活動場所までの往復に起きた事故は含みません。

	傷害保険	賠償責任保険
補償内容 ※学校支援CDは○内	<ul style="list-style-type: none"> ・死亡、後遺障害 500万円（1,000万円） ・入院日額 7,500円（1万円） ・通院日額 5,000円（5,000円） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1事故 3億円 ※対人、対物
事故例	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の階段から転落し、骨折のため通院した。 ・校外学習に付き添う中で、熱中症になり入院した。 ・学校へ向かう途中に事故にあい、負傷したため手術をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導中、誤って子供にけがを負わせてしまった。 ・ボランティアの作業で台車を運搬中、駐車場の車にぶつかり傷をつけてしまった。
対象とならないもの （主なもの）	<ul style="list-style-type: none"> ・故意または重大な過失による事故 ・腰痛など、外的に要因が確認できないもの ・脳疾患などの疾病 <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・故意によって生じた賠償責任 ・天災に起因する賠償責任 <p style="text-align: right;">など</p>

- ・保険の適用を受けるにあたり、保険の対象者（ボランティア等）の名簿の提出を求められる場合があります。教育委員会へ提出の必要はありませんが、各校で参加者の把握、名簿の作成をお願いします（活動・イベントごとの名簿でも可、様式は任意）。
- ・PTA活動や、市教委から派遣される職員等、他の保険の適用範囲となるものは対象となりません。

対象者別の保険案内をミライムに格納しています。
説明会等にて御利用ください。
>10 教育総務課（共通）
>1005-01 コミュニティ・スクール
>14 保険